

**【表紙】**

**【提出書類】** 有価証券報告書の訂正報告書

**【根拠条文】** 金融商品取引法第24条の2第1項

**【提出先】** 福岡財務支局長

**【提出日】** 平成23年3月7日

**【事業年度】** 第38期(自平成21年2月21日至平成22年2月20日)

**【会社名】** イオン九州株式会社

**【英訳名】** AEON KYUSHU CO., LTD.

**【代表者の役職氏名】** 代表取締役社長 岡澤正章

**【本店の所在の場所】** 福岡市博多区博多駅南二丁目9番11号

**【電話番号】** 092(441)0611(代表)

**【事務連絡者氏名】** 取締役 経営管理本部長 福本剛史

**【最寄りの連絡場所】** 福岡市博多区博多駅南二丁目9番11号

**【電話番号】** 092(441)0611(代表)

**【事務連絡者氏名】** 取締役 経営管理本部長 福本剛史

**【縦覧に供する場所】** 株式会社大阪証券取引所  
(大阪市中央区北浜一丁目8番16号)

## 1 【有価証券報告書の訂正報告書の提出理由】

平成22年5月10日に提出いたしました第38期(自平成21年2月21日至平成22年2月20日)に係る有価証券報告書の記載内容の一部に訂正すべき事項がありましたので、これを訂正するため有価証券報告書の訂正報告書を提出するものであります。

## 2 【訂正事項】

### 第一部 企業情報

#### 第2 事業の状況

#### 4 事業等のリスク

##### (13) 金利変動に関するリスク

## 3 【訂正箇所】

訂正箇所は\_を付して表示しております。

### 第一部 【企業情報】

#### 第2 【事業の状況】

#### 4 【事業等のリスク】

##### (13) 金利変動に関するリスク

### (訂正前)

当社は、平成22年2月期末現在において374億26百万円の有利子負債の残高があります。当社は有利子負債の削減に向けた様々な取り組みを行っていますが、当社の成長戦略などにより、有利子負債が更に増加する可能性もあります。

今後の金融市場において、長期金利や短期金利が上昇した場合、借入コストの増加により当社の事業、財務状況及び業績に悪影響が及ぶ可能性があります。

### (訂正後)

当社は、平成22年2月期末現在において374億27百万円の有利子負債の残高があります。当社は有利子負債の削減に向けた様々な取り組みを行っていますが、当社の成長戦略などにより、有利子負債が更に増加する可能性もあります。

今後の金融市場において、長期金利や短期金利が上昇した場合、借入コストの増加により当社の事業、財務状況及び業績に悪影響が及ぶ可能性があります。